

児童氏名	
生年月日	

【ご記入にあたっての注意点】

- ・保護者や慣れている支援者がいない状況や初めての場所での状況を想定して記入してください。
- ・できたりできなかったりする場合、できない状況に基づいて記入してください。
- ・装具等の福祉用具を使用している場合、使用している状況に基づいて記入してください。

ここに
✓して
下さい

項目	結果	区分	具体例/特記事項
①食事		2.全介助	・経管栄養や中心静脈栄養を行っていて、全面的に支援が必要な場合 ・全面的に食事を食べさせている場合
		1.一部介助	・食べ物に特別な配慮をする必要がある。 ・一度に口に詰め込まないよう等、安全面での配慮が必要。 ・都度、嚥下(飲み込む行為)や咀嚼(噛む行為)の指導をしている。 ・嚥下等に配慮された特性のコップや食器等を使用しており、食事のサポートを行っている場合。 ・食べるのに何でも手づかみ、スプーン等の道具が特性のものであったり、また道具を使って食べることにサポートを行っている場合。 ・著しい偏食がある。(水が飲めない、食べられるものが極端に少ない等) ・感覚過敏(食形態(温度、食感)のこだわり、食器のこだわり等)により配慮が必要。
		0.介助なし	[]
②排せつ		2.全介助	・頻尿で何回もトイレに行きたがる。・尿意等を自分から伝えられない。 ・便こねや排尿する場所ではない所で行為行うため見守りが必要。 ・排泄の失敗などが多く、都度対応が必要。 ・集尿器や畜尿袋(ストマ)、おむつ、尿とりパット等や尿カテーテルを使用している。 ・畜尿袋(ストマ)、おむつ等を使用したり、人工肛門を造設している。 ・排泄の度ごとに職員による清拭が必要となる。
		1.一部介助	・立ち便器、和式便器等、トイレの形状によって排せつが困難な場合。 ・トイレトレーニングのために、排泄時間の記録、定時の排泄チェックを行っている。 ・大人の促しがなければ、自発的にトイレに行くことが難しく、配慮が必要な場合。 ・決まった場所でしか排泄をしつがらない場合。
		0.介助なし	[]
③入浴		2.全介助	・入浴する際に首の座りが悪かったり、体幹が弱く配慮が必要である。 ・常時抱っこで入浴の必要がある。 ・シャワーを怖がる、浴槽を嫌がるなど、入浴への恐怖感がある場合。 ・洗髪や洗顔、洗身に強い拒否を示し泣くため、対応が必要。 ・シャワーバット等の器具を使用して、入浴している場合。
		1.一部介助	・入浴の準備行為に時間がかかったり、入浴しても上がるまでに時間がかかったりすることがあり、見守りや配慮が必要。 ・1人で入浴させることはできない。(見守りや声かけを含む) ・感覚過敏があり、洗髪や洗顔、洗身に拒否を示すため、対応が必要。 ・石鹸やシャンプー、タオルなどにこだわりがあり、配慮が必要。 ・入浴する際に常に動いていて、見守り等の配慮が必要。
		0.介助なし	[]
④移動		2.全介助	・常時手をつなぐ状態や、常時抱っこ等で移動が必要な状態。 ・抱っこをして移動するが、首の座りや体幹が弱く抱っこに配慮が必要である。 ・常時バギーや車イス、お散歩カートなど移動用具が必要な場合。 ・道路への飛び出しがあり、信号を理解できない、障害物の回避が出来ないなどの理由で見守りが必要。 ・装具などを装着しているため、移動する際に配慮が必要。
		1.一部介助	・階段や未舗装道路(砂利道等)等の条件によって介助が必要になることがある。 ・歩行速度が他児と異なるため、個別の対応が必要。・道順や手段にこだわりがある。 ・感覚過敏等があり、外履きや靴下などに配慮が必要。 ・公共交通機関ではパニックになりやすく、利用できない。 ・移動が安定せず途中で立ち止まったり、座り込んだり、寝転んだりするため対応が必要。
		0.介助なし	[]
①～④のうち、全介助の✓が3個以上の場合、これ以降の記入は不要です。			

ここに✓し
て下さい

以降は①～④のうち全介助の✓が3個未満の方はこちらも記入してください。

項目	結果	区分	具体例/特記事項
⑤コミュニケーション		2.常に支援が必要	・会話のやりとりではなく、一方的に話しかけたり、テレビのコマーシャルの台詞などを独り言のように話したりするが、自分の意思の伝達ではない。 ・相手からの話しかけに、そのままオウム返して返答している。 ・行動でのみ自分の意思を伝えられる。 ・日常生活上パターン化された内容のみ、自分の意思を伝えられる。
		1.支援が必要な場合がある	・コミュニケーションツールを用いるとコミュニケーションができる。 ・手話や筆談、点字等を用いている。 ・特定の人(保護者など)しか理解できないサインで意思を表現する。 ・特定の人(保護者など)としかコミュニケーションがとれない。 ・慣れない場所や人前では、表情が硬く話すことが難しい状態。 ・吃音がある。
		0.支援不要	[]
⑥説明の理解		2.常に支援が必要	・簡単な口頭での説明をしても、うなづきや返事などが見られず、理解できていると考えられない、又は、理解しているのかを判断ができない。 ・日常生活の中で、パターン化された特定の行為(座る、食べる等)のみ理解できる。
		1.支援が必要な場合がある	・簡単な口頭での説明を聞いてうなづいたり、返事をするが、その後の行動が伴わないことがある。 ・1つのことはできるが、同時に2つ以上のことを指示されると行動が困難になる。 ・コミュニケーションツールを用意することで、理解が促される。 ・ジェスチャーで補足すると理解が促進する。
		0.支援不要	[]
⑦大声・奇声を出す		2.常に支援が必要	・時間帯と場所を選ばず大声・奇声を出す。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑧異食行動		2.常に支援が必要	・食べられないもの(例:石や砂、玩具類、腐った食べ物、地面に落ちて明らかに汚れている食べ物、酒類、洗剤類など)を口に入れる。 ・物を口に入れて感触遊びをしたり、確認したりする行為がある。 ・服の袖を噛んだり、紐を口に入れることがある。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑨多動・行動停止		2.常に支援が必要	・周囲と協調できず、絶えず動いてしまう。またはマイペースに周囲と無関係に動いてしまう。 ・常時走り回る、1箇所に留まることが難しい。 ・絶えず喋っている。 ・体の一部を常時動かしている。 ・5～10分程度であれば指示に応じることができるが、その後すぐ同じ行動を繰り返してしまう。 ・ゆっくりした行動が難しい。(例:歩くことができず、すぐに走ってしまう等) ・バランス感覚がアンバランスのために、転びやすい、怪我をしやすい、高いところから落ちやすい。 ・本人の意思とは関係なく、次の行動に移ることが難しい。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑩不安定な行動		2.常に支援が必要	・特定の物・人へ固執することで安定を図り、それが無くなったり、変更してしまうと不安定になってしまう。 ・パニック、突然泣き出すことがある。 ・突然の予定変更があると次の行動ができなくなる。また、不安になり落ち着きがなくなってしまうたり、行動が停止する。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	

項目	結果	区分	具体例/特記事項
⑪自らを傷つける行為		2.常に支援が必要	・自分の頭を叩いたり、床や壁に打ちつける。 ・自分をつねる。 ・傷口を触ったり、ほじったりして治らない。 ・自分で口に指を入れて嘔吐する。・衣服を破ることがある。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑫他人を傷つける行為		2.常に支援が必要	・他人を叩く、髪を引っ張る、蹴る、押す等の行為がある。 ・物を壊したり、投げたりする行為がある。・暴言（バカ、死ね等）、相手を侮辱したり、からかったり、いじめたりする行為がある。 ・他人へ過剰な注意や干渉によるトラブルを起こす場合がある。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑬不適切な行為		2.常に支援が必要	・見知らぬ人に対し、過度に親しげな振る舞いをする。 ・他人に急に接近したり、のぞき込んだり、体に触ったりする。 ・断りもなく人の物を持ってきてしまう、盗む。 ・感情のコントロールに困難があり、些細な出来事で直ぐにかんしゃくをおこしたり、周囲の人とトラブルになりやすい。 ・意図的に保護者や職員等に従わず反抗する。また、過度な要求をする。 ・過度に人や物の臭いを嗅ぐ行為がある。 ・不適切な場所で排便・放尿がある。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑭突発的な行動		2.常に支援が必要	・手にしたものを突発的に投げてしまう。 ・気になるものや事柄があると、大人から勝手に離れてしまい、迷子や行方不明になることがある。 ・気になることがある場合に、手を繋いでいても振り切り、気になる方に行ってしまう場合がある。 ・危険の認識が弱く、突発的に道路に飛び出したり、自分の身体能力を超えた高さから飛び降りる、熱いものなど危険なものに手を出してしまう。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑮過食・反すう等		2.常に支援が必要	・過食、拒食がある。 ・口に入れたものを飲み込めず、口に溜めたままにする。 ・際限なく水を飲み続ける。 ・嘔吐を繰り返す。 ・極度な偏食あり、食事面で配慮している。 ・アレルギー食対応、宗教食対応が必要。 ・咀嚼（噛む行為）、嚥下（飲み込む行為）の課題があり配慮が必要。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑯てんかん		2.常に支援が必要	・てんかんの診断がある（薬で発作を予防している場合も含む）。 ・発熱時に抗けいれん座薬等で対応をしている。 ・薬の服用状況の確認を常に行なっている。 []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑰そううつ状態		2.常に支援が必要	・前後の脈絡なく急に泣いたり、笑ったりする。 ・日常の活動への興味や意欲が感じられない。 ・自殺企図がある。 ・気分安定剤などの薬物を使用している。 ・睡眠に課題がありリズムが崩れやすく、睡眠が安定しない。 ・睡眠障害に関する診断や治療をしている。 ・気分の高揚や過度な興奮状態、怒りやすい []
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	

項目	結果	区分	具体例/特記事項
⑮反復的行動		2.常に支援が必要	・物や行為にこだわり特定の行為を反復する ・自分の気になることを、何度も聞き返す。 ・回る物や紐などを常に持ち、それらを常に動かしている。 ・上半身を前後に揺らす、ジャンプを繰り返すなどがあり、時と場所に応じて配慮している。 ・日常生活の中で、決まったルーティンを行わないと次の行動にうつれない。 ・日常生活の中で、決まった道以外を通るとパニックになる。
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑯対人面の不安緊張・集団への不適応		2.常に支援が必要	・一定期間学校や事業所に行けず、家に引きこもっている状態。 ・全くもしくは短時間しか集団参加できず個別に対応が必要。 ・新しい場所など慣れない場所に行くと動けなくなり、会話ができなくなる。 ・不安緊張が高まるとその場にいられなくなる、もしくは動けなくなってしまう。 ・アイコンタクトが乏しく配慮を必要としている。 ・チックなど身体症状にあらわれている場合。 ・緘黙がある。 ・感覚過敏により日常生活への適応に困難があるため配慮が必要。
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	
⑰読み書き		2.常に支援が必要	・文字では理解できず、コミュニケーションツールを使用することで理解できる。 ・文字に興味を示さない。 ・学習障害の診断がある。 ・外国語でのコミュニケーションが必要なために、翻訳を行なっている。
		1.支援が必要な場合がある	
		0.支援不要	

合計 0点

記載内容について説明を行いました。

事業所名 _____

担当者署名 _____

記載内容について同意します。

保護者署名 _____

【職員使用欄】	
聴取日/受領日	判定結果